

今回は 高校生のための建築塾 の事業報告です。

◇平田建設株式会社専務取締役 平田久美子様 より、レポートをいただきました！

日時： 令和3年12月19日（日） 9：00～16：00

場所： 平田建設株式会社 本社2F セミナールーム

主催： 平田建設株式会社



弊社では昨今の建設業界の人手不足や地域からの人材流出を憂い、地元の子どもたちへ様々な啓発活動を行っております。

今回5回目の開催を迎えたイベント「高校生のための建築塾」は、その活動の一環として行っております。建築系の大学や仕事に興味がある進学希望の高校生を対象とし、設計・製図体験をしたり、建設業界や大学進学、建築士資格取得に関わる話を聞いたりすることで、「建築系の大学に進学する」というイメージを膨らませていただくことが目的となります。

一口に「建築」といっても、意匠、構造、設備、環境、材料など、専門性は多岐にわたります。就職を見据え、建築系企業に関してもその種類は、ゼネコン（大手、中堅、地場など）、設計事務所、ハウスメーカー、工務店などあり、就職する企業によって職種が大きく変わることになります。

大学でも、土木系が強い大学、意匠系が強い大学、構造系が強い大学、などといった傾向があり、レベルの高い大学に入れば良い勉強ができるとは一概に言えません。

このような情報に関して、子ども向けの情報が乏しく、子どもさんたちがよく知らないまま曖昧な状態で進路を選択してしまうことがあります。そうすると自身の興味やスキルと進学先大学での勉強・研究がミスマッチする懸念があり、学習意欲の減退や大学中退などの問題が起こることとなります。

未来ある若者がそのような挫折を味わう前に、自身の進路を真剣に考える機会としてほしいとの思いから、この建築塾を開催しております。

今回の建築塾では、まず、一級建築士でもある社長から建築・建設業界の話、建築系の資格取得の話を行いました。とりわけ、一級建築士に関しては資格取得までのプロセスなどが特殊であるため、注意が必要であり、また資格取得に関してはたくさん勉強することが必要であるという旨をお伝えしました。

次に進学の話。進学校の生徒さんは、とかく偏差値で大学を選びがちになります。しかし、建築士取得に関しては大学のレベルというよりも大学で学べる内容の方が重要であることや、大学の選び方によっては資格取得への道が遠のいたり、学びたいことが学べなかったりすることがあることをお伝えいたしました。

続いて建築学科在籍の現役大学生2名（名古屋大学、名城大学）が、大学にまつわる様々な話をしました。特に、同じ建築系の学科でも、国公立と私立大学、そして名古屋大学と名



と話していました。

午後からは実際の建築図面をトレースするという製図体験をしていただきました。トレースと言っても、書き方のルールや手順があり、ただ図を写して描くという事ではないため、どの生徒さんも最初は悪戦苦闘でした。

しかし、スタッフのサポートを受けながら一生懸命取り組み、作業スピードに個人差はあるものの、どの生徒さんもきれいに図面を仕上げていました。

手描き製図は建築士試験の必須課題でもありますし、大学に入学して一番最初に取り組む課題でもあります。この経験を通して、大学での学びや建築設計の仕事というものを意識してもらえればと思います。

たった1日で多くの情報や体験を詰め込んでいますので、参加された生徒さんたちはさぞかし大変だったと思います。ですが、このイベントで経験したことが、それぞれの進路決定に役立てば幸いに思います。

当イベントに参加後、生徒さんたちが「建築って面白そうだな」と思っても、「建築は無理そうだな」と思っても、それこそが当イベントの目的であり意義であると考えております。地域に住むお子さんの未来のために地域企業ができることをこれからもどんどん行っていきたいと思います。

城大学の違いは大きくあり、進む大学によって学べるものが大きく違うという事を生徒さんたちもわかっていただけたのではないかと思います。

トークセッション後の質問コーナーでは、「高校生のうちに学んでおいた方がいいことはあるか?」「建築学科は忙しいと言ってたが、一年中忙しいのか?」といった質問も出て、大学生たちが率直な意見を語っておりました。

2名の学生とも、高校生のうちは「どうして自分は建築を学びたいと思ったのか?」「建築で何がしたいのか」などのイメージを膨らませ、原点を考えていくことが大事

